

進学とお金の話！



皆さんが「進学する」ということは、「家族に大きな経済的負担をかける」ということです。したがって進路希望を考えるときは、必ず家族の理解と了解が必要です。

では「お金がなければ進学はできないの？」…確かにそうなのですが、経済的な理由で希望の進路をあきらめることの無いように、様々な奨学制度が用意されていますので、そういう情報を掴むことも進学先を考える上で重要です。（前回の進路希望調査にも資料をつけてあります）
それでは、実際に進学するためには、どれくらいのお金が必要なのでしょう？

☆公立高校の場合〔例 洛北高校 普通科〕

- ・受験料 2200円 ・入学金 5650円 ・授業料 118800円
- ・学校諸費 約48000円 ・制服 約40000円 ・体操服など 約16000円
- ・教科書など 約23000円 ・研修旅行費 約50000円
- ・その他（生徒会費・模擬試験など） 約30000円

※授業料は国の就学支援金で無償となる～年収制限あり

安いと言われている公立高校でも授業料抜きで、初年度に約21万円が必要です。
（他の公立高校もほぼ同額ですが、学科や研修旅行先によって増減があります。）

☆私立高校の場合〔例 わりと近所の高校 普通科〕

- ・受験料 20000円 ・入学金 90000円 ・授業料 531000円
- ・教育充実費 96000円 ・諸費用 63600円 ・教科書 約18000円
- ・制服、体操服、かばんなど 約96000円 ・研修旅行費 約150000円

研修旅行費を1年次は半額として、合計が約99万円です。他の私立高校でもだいたい90万～100万円が必要になります。

※私立高校も、公立高校と同額の授業料は、国の就学支援金により補助されます。

※所得制限はありますが、京都府の「あんしん就学支援制度」を利用すれば、最大65万円までが給付されます。満額支給されると、公立高校とほぼ同額となります。

いずれにしても、大変な負担になります。家族の人に「おまえの為なら、用意するよ」と言ってもらえるように、しっかりと相談をして、目標に向けての努力を続けましょう！

本日、京都府の「修学資金の貸与」の募集に関するパンフレットをお配りしました。予約申請をしていただくと、公立高校で1万8千円まで、私立高校で、3万円までを毎月借りることができます。パンフレットを読まれて、希望される場合は、正式な書類をお渡ししますので、お申し出ください。（詳しく進路係まで）

12月の三者懇談用の
第4回進路希望調査
を11月中頃に実施し
ます。ご予定を！

いよいよ11月、各高校の説明会やオープンキャンパスも最終段階です。11月半ばを過ぎたらウソの様に無くなります。そうです、そんな時期なのです。もう悩むのではなく、決める時が来ているのです。真剣に考えて参加しましょう！